

地域を沸かす 熱狂の旗を立てる。

農業の未来を塗り替えるリーダーシップと行動原理

ONE SLASH(ワンスラッシュ)/
RICE IS COMEDY(ライスイズコメディ)
清水 広行氏



PROFILE

清水 広行

ONE SLASH/RICE IS COMEDY代表

滋賀県MLGsふるさと活性化大使

1986年生まれ。元スノーボード選手。

2016年に地元に戻りUターンし

地域グループONE SLASH結成。

西浅井を拠点に米づくりからまちづくり、

環境・教育事業、家業の建設・建築まで

実業家としてマルチに活躍。



ONESHASHI

長浜市西浅井町のメンバーで構成された、それぞれが仕事を持ちながら「地元を1000%楽しむ」ことをコンセプトに、これまで桜の名所のそばで行うマルシェイベント『西浅井はるマルシェ』や地域の獣害のイメージをポジティブに変えるとともにジビエの美味しさを知ってもらうためのイベント『西浅井ジビエ村』、100mの流しそうめん祭りなど地元を盛り上げるためのイベント企画を実施。

活動年表

2016

9月

- ・清水広行 西浅井にUターン。
家業の建設業に従事するとともに
グループ結成に向けて動き出す

12月

- ・ONE SLASH結成
-

2017

4月

- ・庄村の春祭り再興(3年間連続)
- ・「西浅井はるマルシェ」(3年間連続)
- ・米作りスタート

8月

- ・大浦花火大会マルシェ(3年間連続)
- ・100メートルの「流しそうめん祭り」(3年間連続)

秋頃

- ・農業体験スタート
 - ・米の直接販売&卸スタート
-

2018

2月

- ・「西浅井ジビエ村」(3年間連続)

8月

- ・建設・建築部門「Epic Days」竣工

11月

- ・滋賀県立大学の授業に登壇
(清水広行)
-

2019

3月

- ・地方創生ビジネスプランコンテストで
全国50か所以上の中から本線に選ばれ、
準グランプリに輝く

春頃

- ・米づくりのコンセプト「RICE IS COMEDY
(米作りは喜劇だ)」決定

6月

- ・「ゲリラ炊飯」を長浜市の黒壁スクエアで初めて実施
- ・YouTube「ワンスラッシュ【ONE SLASH】」チャンネル解説

7月

- ・ONE SLASH × 近江麦酒
ビール「RICE IS BEAUTIFUL」完成
- ・地方創生会議 in 高野山に出席(清水広行)

11月

- ・ゲリラ炊飯の様子が全国ネットニュース番組で
放送されRICE IS COMEDY/ONE SLASHが全国区に
-

2020

1月

- ・不動産事業部「ESTEST」設立
- ・滋賀県立大学の授業に登壇(清水広行)
- ・プロモーションビデオ『RICE IS BEAUTIFUL』が
ナガハマムービーフェス2019で大賞を受賞

4月

- ・ONE SLASH × 矢尾酒造「鈴政宗 純米日本酒」完成

5月

- ・台湾発祥のライブストリーミングサービス「17LIVE」スタート

活動年表

2020

7月

- ・ ONESLASH × つるやパン「特製『まるい食パン』」完成

10月

- ・愛媛県西条市の産直市場『いとまちマルシェ』でゲリラ炊飯を実施。ゲリラ炊飯・第二章のきっかけとなる。

2022

7月

- ・ RICE IS COMEDY × 仕立て屋と職人「新作法被」完成
- ・京都の日本酒イベント『SAKE Spring』でゲリラ炊飯を実施

8月

- ・居酒屋『あほうどり』オープン

9月

- ・ライスレジンは混合レジ袋を作成
- ・『イナズマロック フェス2022』にてライスレジンのブースを出展し、RICE IS COMEDYと株式会社バイオマスレジンはホールディングスとの連携事業が始まる
- ・滋賀県のマザーレイクゴールズ分野別大使の第1号として「ふるさと活性化大使」に就任（清水広行）
- ・『となりの人間国宝さん』（よ〜いドン!関西テレビ放送）でゲリラ炊飯が取り上げられる

10月

- ・アパレルショップ『CITRONE』オープン

11月

- ・「雀荘少年 長浜店」オープン
- ・地元の長浜市立長浜小学校で環境事業を実施

2023

1月

- ・脱炭素・再生可能エネルギー分野の事業開発スタート
- ・ ONE SLASHプロデュースのドキュメンタリー作品『水と還り、水と生きる』が『地元サイコウ!映像祭』で400作品中、佳作を受賞
- ・滋賀県東近江市の株式会社おおまえ×CITRONEによる第一弾コラボ商品（暮染め）リリース
- ・ゲリラ炊飯・第二章の一発目として小豆島へ。・本桶サミットでゲリラ炊飯を実施

2月

- ・環境省・立命館大学と連携した「地域再エネ導入促進及び地域中核人材育成研修」実施

3月

- ・「Creativity Future Forum '23」(UNIVERSITY of CREATIVITY[UoC]主催)登壇(清水広行)

4月

- ・ライスレジンの原料となる資源米(超多収品種「さくら福姫」。通称「モンスターライス」)の実験栽培が西浅井の田んぼで始まる

今日、皆の人に伝えたいこと。

それは、

「自分たちがつくりたい、美しい世界」を
実現するために、

まずは足元から変化を起こそうということ。

私とONESLASHの歩みから
ご紹介します。



2016年9月 清水 広行、

地元の滋賀県西浅井に戻る。

そこで感じたのは

地元が消滅する
かもしれないという

危機感。



まずは、

自分が大好きだった「地元のお祭り」を
今の子どもたちにも届けてあげたい。
という思いから立ち上がった。



お祭りの成功から

西浅井はるマルシェ、西浅井ジビエ村、

次々にイベントが成功。



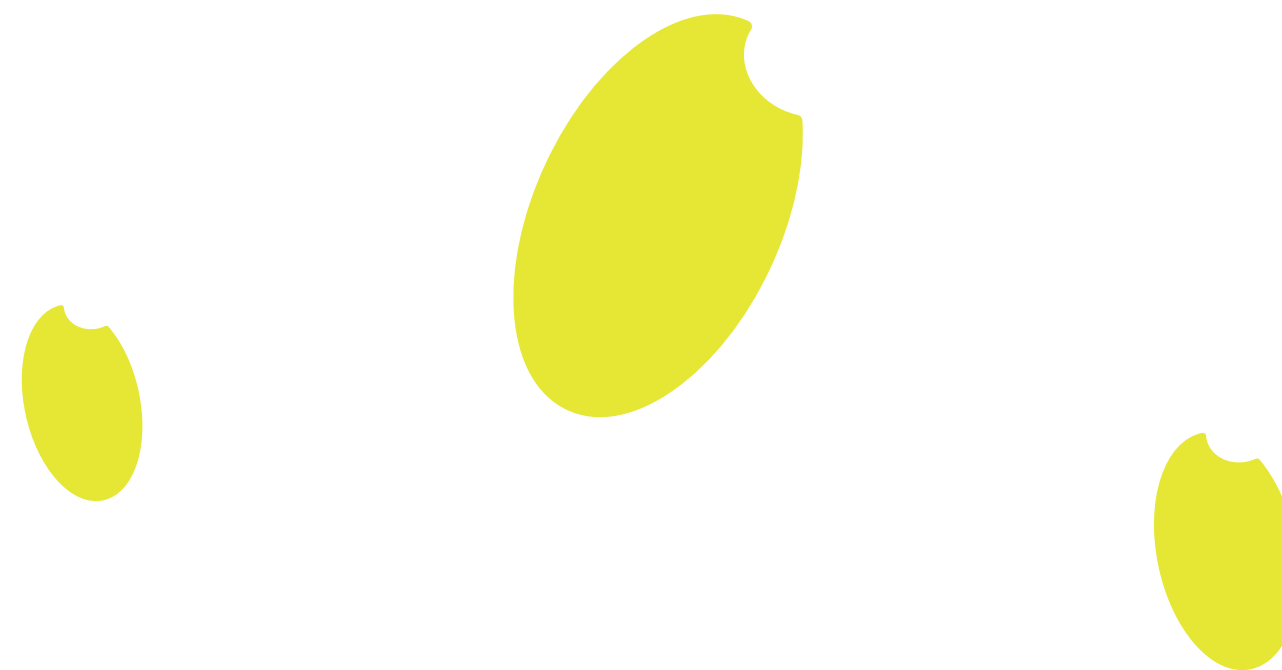


人口**4,000**人のまちに



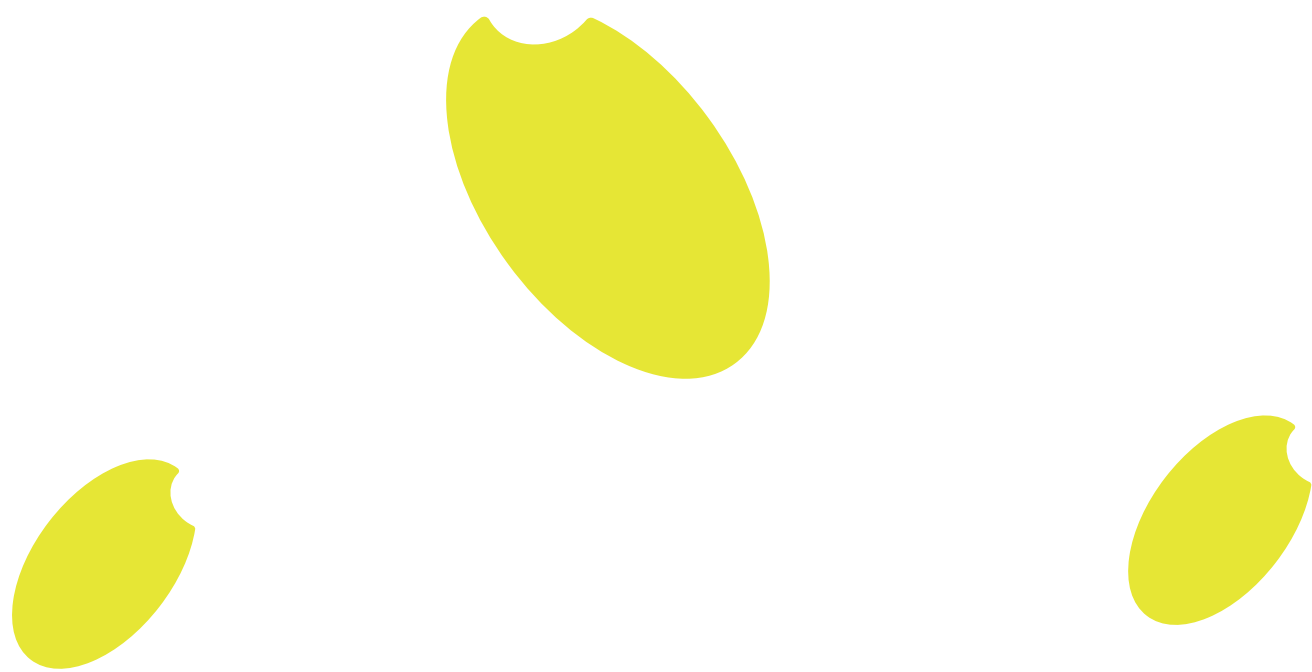
年間**4,000**人が訪れる

賑わう場所に変わる。



そして、2017年西浅井で **米作り** に挑戦。

まちおこしと同じ発想。



僕たちが考えたことは、米を…

“作る” = レッドオーシャン

“売る” = ブルーオーシャン

じゃない？

大切にしている考え

究極のネガティブは

究極のポジティブの

裏返し。

お米の可能性は、“売り方”にある!?

そこで考えたコンセプト

農業を**エンターテイメント**に、
米作りを**“祭り”**に。

あの偉人もこう言っていました…

人生は近くで見ると**悲劇**だが、
遠くから見れば**喜劇**だ。

by チャーリーチャップリン





RICE IS COMEDY

米作りは喜劇だ。



RICE IS COMEDY

地域では米の価値が正当に評価されておらず、非常に薄利な現状が続いています。この現状をなんとかしたいと、家の田んぼや耕作放棄地を開拓して、米作りをはじめ、現在「RICE IS COMEDY(米作りは喜劇だ)」というコンセプトのもと地域の特産品とするべく米作り、ブランディング事業を行なっています。



RICE IS COMEDYの誕生によって、
西浅井のお米をたくさんの方に
知っていただくことができました。

しかし、そこには

葛藤がありました。

今。日本全体でお米の消費量は
年々低下している。

僕たちがお米をもっと生産することで、

困ってしまう農家さん現れるのではないか。

マスの奪い合いになっているだけで、

農業の課題の根本的な解決には

つながっていない。

この悩みを解決する新たな出会い

お米由来のバイオマスプラスチック

ライスレジジン

ゴミ袋やレジ袋、スプーンやフォークなどの
カトラリー、赤ちゃんのおもちゃなどエコフレンドリーな
プラスチック素材として活用できる。



お米の「食べる価値」に加えて

「資源の価値」として活用できる。

人にも環境にもやさしい

お米の新しい可能性

お米の可能性 = ライスレジンを

僕たちはこれから

さらに広めていきます!



今日、ここに集まった年長者の皆さんは、
困難と言われることに

果敢に挑戦したからこそ 今がある、

という経験をされた方が多いはず。

未来を担う若手世代の

皆さんも一緒に

挑戦していきましょう!

簡単には
変えられない？

そんなことはありません！

実際に

「変化を起こした」

大切な仲間を

紹介します。





PROFILE

中筋 雅也

RICE IS COMEDY

お米生産部隊隊長

ヤンマーパワーテクノロジー株式会社

小形事業部生産部所属

1980年生まれ。2010年、

兼業農家として実家の田んぼを受け継ぐ。

2017年ONE SLASHと

RICE IS COMEDY®を結成。

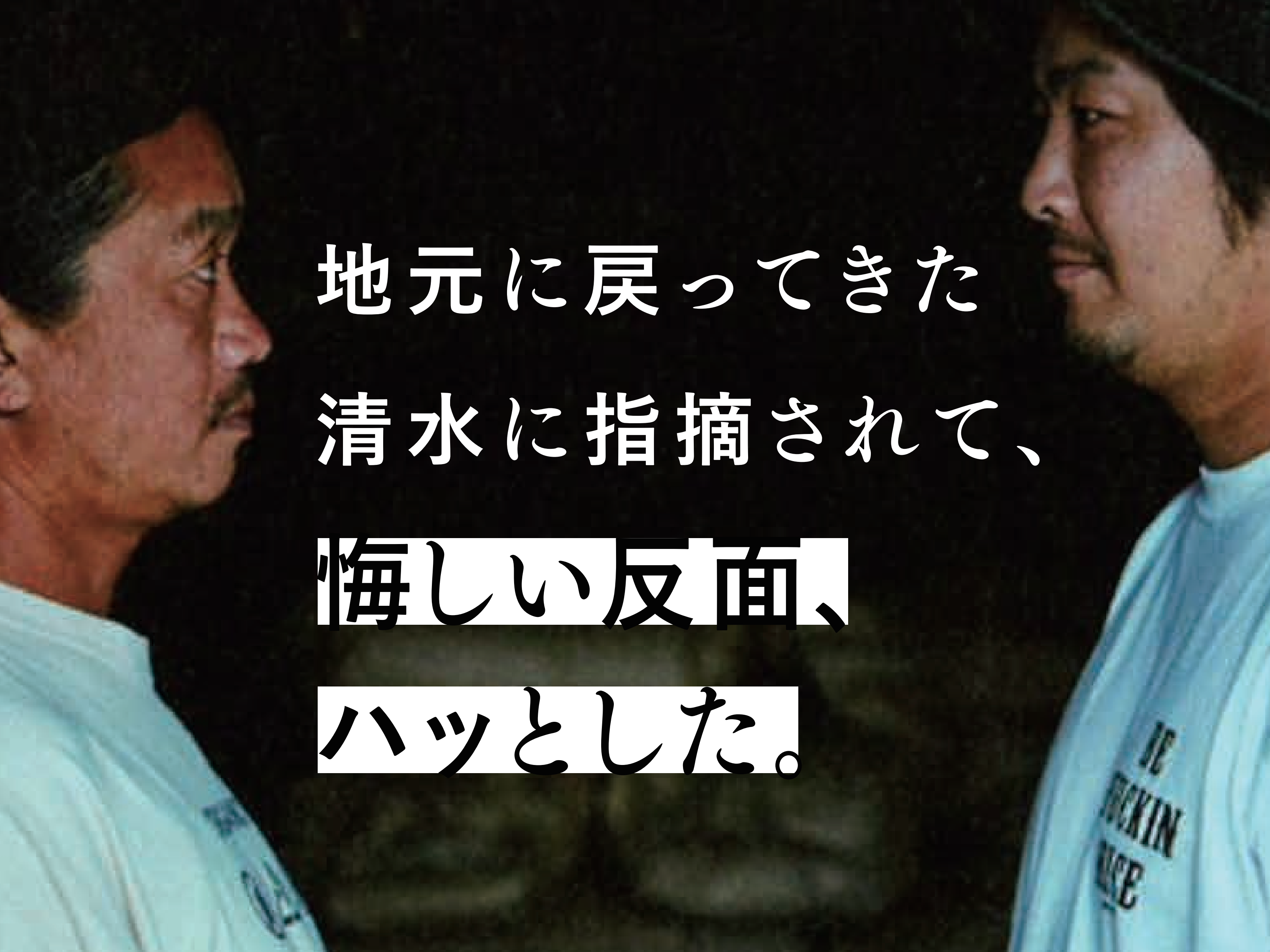
お米づくりの楽しさを伝える活動をおこなっている。

地元元気がないことすら

当たり前になっていて、

思考停止していた

自分。

A close-up shot of two men in light blue shirts looking at each other. The man on the left is slightly older with some grey hair, and the man on the right is younger with a beard. They are both looking towards the center of the frame. The background is dark and out of focus.

地元に戻ってきた
清水に指摘されて、

悔しい反面、

ハツとした。

この挑戦は

地元の活性化だけでなく、

本業である今の仕事にも

活きている

相乗効果だ。

実は…

昔、活気に
満ちていた頃に

祭神輿を造ったのは、

僕の父でした。



何かに挑戦しようとするのと、
「絶対無理」なんて
否定されて
つい諦めてしまいうことって
ありますよね？

でも、

自分が子ども頃に
卒業アルバムに書いた

夢や目標は、

「絶対叶えられる」と

思っていたはず！

たとえ否定されても、
自分がつくりたい世界を
実現するために、
ひたむきに考え、
挑戦し続けること！

まずは自分から変化を起こし、

「熱狂の旗」を立てましょう。

そうすれば、周りの人が変わり、
まちが変わる！



ここに集まった

皆さんには、

可能性しかありません!

ご清聴

ありがとうございます

ございました！